

平成23年田麦山地区長寿番付

平成23年9月現在

氏名	年齢	地区	屋号	番付	氏名	年齢	地区	屋号
渡辺 善晴	94	田中	与右衛門	横綱	森山 ミエ	96	大形	新敷
内山 四郎	91	大谷内	庄右衛門	大関	桜井 タマ	91	大形	カミカジ
森山 圭吾	91	大谷内	ナカヤ	関脇	小川 ハル	91	大形	オケヤ
大淵 正平	90	前原	藤次郎	小結	桜井 サク	91	大形	五助
森山 伊勢松	88	田中	喜右衛門	前頭 1	大淵 シマ	91	前原	助右衛門
桜井 永久	88	大形	タナカヤ	前頭 2	内山 タウ	90	大谷内	松右衛門
森山 太吉	87	田中	タツボ	前頭 3	石坂クマノ	89	小高	前

たむぎやま

平成23年
9月20日発行新潟県
田麦山地区館

毎年開催されている 田麦山地区敬老会へ、昨年に続き今年も参加させていただきました。一回目となった今回のメニューは、回子入りふわたまスープと、とてもクリーミーなかぼちのパンナコッタの二品。スープよりもデザートに人気が集まり、とても喜んでいただけました。

また来年も、人生の大先輩でもある皆さんを笑顔にできるメニューで参加したいと思っています。

もてなし処 田麦山 水落小百合 (大形 重右衛門)

敬老会にておもてなし



集いは多年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬愛するとともに、人生を立派に生き抜いてこられたことに対して祝福と感謝の念を捧げようと、七十五歳以上の高齢者を対象に開かれ、今年度の対象者は九十名でした。

この日、残暑の厳しい中にもかかわらず五十一名が参加し、来賓に佐藤市議さんをお招きし、和気あいあいの中で、マジックショー(手品)やカラオケに興じ、賄い処(水落小百合さん)による美味しいお汁も出て、楽しいひと時を過ごしました。

また、水落佐一郎さんの天神囃子や、渡辺重徳さんの万歳三唱に、お互いの長寿を祝福し、そして、これからも自愛し、来年もまた元気で参加しようと、会場はひとつになりました。

本年も対象者の半数を超える参加をいただきました。高い出席率は、地域の結束の固さと、地域の絆を大切にする気持ちによるものと思います。そして、このことが郷土のいちばんのよさではないでしょうか。

来年度も一人でも多くの方から参加いただきますように、益々健康で長寿を重ねていただき、更にそれぞれのお立場で活躍いただきますようご祈念申し上げます。

『敬老のつどいに寄せて』

田麦山地区協議会長 大淵 公男

長寿を祝い九月十一日(日)、協議会主催による平成二十三年度田麦山地区「敬老のつどい」が公民館体育館で盛大に執り行われました。

最高だった川中体育祭

渡辺 稜(茂兵衛)

七月二十九日からの豪雨による水害で川口中学校のグラウンドは泥一色となりました。体育祭に間に合うようにと多くの方々の協力により生まれ変わったグラウンドで、九月三日(土)無事に体育祭を行うことができました。

今年の体育祭を振り返ると、あつという間の一日でした。でも、その短い時間の中にたくさん思い出ができました。その中でも心に残っている二つを紹介します。

一つめは『タイヤ取り』です。中央に置かれたタイヤを自陣に引き込み、より多くを取った軍が勝ちという競技です。毎年、三年生がやっていたので、今年は自分が競技できることをすごく楽しみにしていました。練習の時には青軍に負けてくやしかったので、本番では「必ず勝つてやる!」と思っていました。そして、いよいよ本番です。試合は三回戦あり、一回戦は男子、二回戦は女子、三回戦は男女混合です。僕はポイントの高い大きいタイヤを取りに行きました。紅軍のみんなと協力して大きなタイヤを取ることができました。すごくうれしかったです。結果は、二対一で勝ちました。

二つめは、『川中オリジナル』です。紅軍・青軍それぞれが自分たちで考えたダンスを踊ります。リーダーを中心に選曲したり踊りやポーズを考えたり、隊列の変化などを工夫してダンスを作りました。みんなが踊れたことがとても嬉しかったし、楽しかったです。

紅軍の団長として少し頼りなかったかもしれないですが、最後まで全力を出し切り、みんなが盛り上げ、楽しめた、三年間で最高の体育祭でした。



『ふるさと創生事業』

田麦山集落案内看板設置について

田麦山地区協議会

看板の名称・キャッチフレーズ

幸せの青い鳥「オオルリの里」と名付ける

この度、川口地域各地区の集落案内看板設置に伴い、田麦山地区の看板の名称・キャッチフレーズを、地区協議会で検討した結果、幸せの青い鳥「オオルリの里」と名付けました。

集落看板は、市の平成二十三年度ふるさと創生事業の一環として進められ、川口地域の各地区の特徴を生かした集落案内看板を設置し、郷土の魅力を地区内外に広くPRし、郷土への愛着心を育むことを狙い設置されるものです。

キャッチフレーズー
オオルリの里イラスト
オオルリ田 麦 山
長 岡 市

設置場所（2箇所）
・下水処理場壁面
・公民館正面
大きさ
・90 cm × 120 cm

キャッチフレーズ「オオルリの里」名付けの背景

① 山の相川鳥獣保護区

私たちが暮らす田麦山の「山の相川鳥獣保護区」は魚沼周辺で最後に残された典型的な里山のひとつとして注目される。この里山に雪によって刻まれたV字状の深い谷あいには野鳥たちの声がエコーとなって響き合う。スギとブナが混じり合う森や、ホオノキの白い花、雪ツバキの赤い花に代表される植生も豊かであり、夏には底なし沼にモリアオガエルの白い泡状の卵が、木の枝に見られるなど、生息する動物も多い。

② 豊かな自然と野鳥の宝庫

この素晴らしい自然環境にたくさんの野鳥（六十余種類）が観察されており探鳥地として五月には多くのバードウォッチャーが訪れ、長岡市立科学博物館もこの豊かな自然遺産を注目している。

③ ひとときわ目立つ青い色のオオルリを名称に採用

木の梢でひとときわ目立つのは、頭上が水色で翼が濃い青い色のオオルリで、ピールリピー・ジジッと美しい声でさえずり、「幸せの青い鳥」と愛鳥家に親しまれている。この度、このオオルリを田麦山案内看板にキャッチフレーズとして採り入れることとした。

わがふるさと田麦山の豊かな自然資源を地域住民の共有財産として大事に保護するとともに、安らぎと潤いの場として、さらに野外学習の場として、多くの人に活用してもらうことを通じて、郷土愛を育み元気で健康な地域づくりに資する。



※カラーで載せられなくて残念！

『お知らせ』

特徴…濃い青色、頭部は水色
ピールリピー・ジジッと
美しい声でさえずる。
チルチルとミチル（兄妹）
の青い鳥の物語に出てくる
「幸せの青い鳥」

第十五回 田麦山クロスカントリー大会・自然塾

九月二十五日（日）会場 岩栗ランド周辺

第二回 MTB×たんぎやま

グランドゴルフ大会

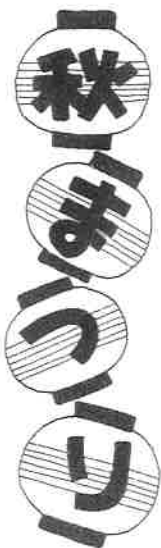
十月十日（祝）会場 公民館 多目的広場

第三十九回 田麦山地区大運動会

十月十六日（日）会場 公民館

防災訓練・収穫祭

十月二十三日（日）会場 公民館



『MTB×たんぎやまマウンテンバイクレースのお知らせ』

戸倉 徹（東京在住）

来る十月十日、昨年に続き第二回 MTB×たんぎやまマウンテンバイクレース（自転車レース）が、田麦山にて開催されます。昨年は参加人数二十人程の小さな大会でしたが、田麦山の魅力に参加された方々に発進することができました。

今年は大谷内の森山工業周辺のクロスカントリーコースを使用し二時間の耐久レースとなります。昨年と同様にレース前にパレード走行があります。家の前や沿道に出て応援していただくと選手の皆様はとても励みになります。パレードの順路ですが、公民館九時スタート→辰蔵→栄次郎→大田堂→孫助→六蔵→横道→堰堤魚道→森山工業（予定）どうぞ宜しくお願い致します。

『お悔やみ』

八月十三日 渡辺恒吉さん（前原カイク）享年八十一歳 謹んでお悔やみ申し上げます。

『編集後記』

きびしい残暑が続いています・・・皆様体調の方はいかがですか？

そこまで来ています、収穫の秋、実りの秋、スポーツの秋。

来月の運動会にそなえ体調を整えましょう